

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州ものづくり革新スクール事業
事業主体 (連絡先)	NPO 諏訪圏ものづくり推進機構 長野県諏訪市小和田南 14-7 (諏訪商工会館内)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,704,108 円 (うち支援金 : 2,204,000 円)

事業内容

各企業が持っている「ものづくり技術」を最大限に発揮できる仕組みづくりと、強い現場を構築できる人材の育成を目的に実施。

- ・スクール開講 15名参加
8月24日～12月7日における20日間
座学 9日間
現場実習 9日間
成果発表 2日間
- ・修了生のフォローアップ研修会 開催
6月29日 諏訪商工会館 5期修了生15名参加
講義 / 改革スケジュール進捗発表



【座学・現場実習】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 生産現場の改善活動を指導する者の育成
 - ・15名修了
 - ⇒生産現場改善活動を指導できる人材を着実に育成した
- ② 生産現場での改善活動の指導力向上、実践実習
 - ・3社実施
 - ⇒県内製造業の生産性向上を支援する基盤が強化されたとともに改善指導者のスキルアップを図ることができた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① 自己評価理由に記載した内容に対して、継続してフォロー指導を行い、更なる成果に繋げる。
- ② 前事業から継承することができ、今後も本事業を継続することで、強い現場を構築できる人材を増やしていく。
- ③ ノウハウを蓄積した現場指導により、県内製造業の生産性向上を支援する基盤強化に繋げる。
- ④ ものづくり現場の改革に向け、さらにDXなど先端技術の事例を講義に盛り込み内容の充実を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ① 生産現場の改善活動を指導する者の育成
- ② 生産現場での改善活動の指導力向上、実践実習

※自己評価 【 A 】

【理由】

・全受講生が自主テーマを設定し、自社、自職場の改革に取り組中。
学んだことを、即実践化し事業所及び個人々の改革に繋がっている